

「日本一お節介なまち」を目指して

～真庭あぐりガーデンの取り組み～



脱炭素社会に向けて！

食品ロス削減の取組み



パッケージロス削減の取組



地産地消の食材の積極的な使用



太陽光パネルの設置

捨てられる野菜が「お節介」で生まれ変わる!

カット野菜「お節介野菜」事業



主役は地元の高齢者



食品ロス削減と地域野菜の付加価値アップ

「循環の輪」の象徴となる施設

真庭の自然、人、想いを繋ぐ場所 — 真庭あぐりガーデン

- 資源循環の啓発拠点として2015年にオープン
- 真庭市の取組み「バイオ液肥」で育てた野菜やお米が楽しめるレストランやマーケット





ようこそ、「お節介」な真庭あぐりガーデンへ

「お節介」から始まる、循環の輪

高齢者の手仕事創出「お節介野菜」プロジェクト始動！

おばあちゃんの「もったいない」が、きっかけに

真庭市と連携し、介護予防体操に参加している高齢者に呼びかけ、
2019年に商品化

規格外野菜が「商品」に

農家さんの所得向上・おばあちゃんたちの「はりあい」「お小遣い」の創出



「お節介野菜」には…

- 規格外で廃棄される野菜が「もったいない」
 - 子育て世代の家事を「楽にしてあげたい」
 - 子どもたちにたくさんの野菜を「食べてほしい」
- 真庭のおばあちゃん達の「お節介」な気持ちが込められています。



「お節介」から広がる、循環の輪

「お節介野菜プロジェクト」拡大中！

参加者5名→現在100名以上に！

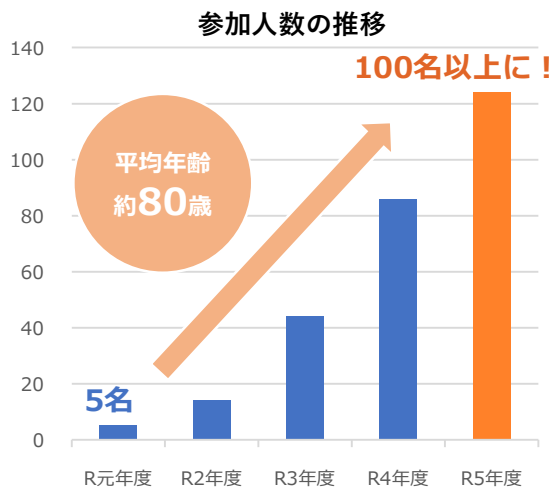
- 参加者の平均年齢は約82歳、最高齢はなんと96歳！
- 加工場は市内5か所
- 加工作業を通して地域の多世代交流の場に

開発商品は100種類以上！

- アンテナショップ「真庭市場」と連携し、都市部の消費傾向を分析
- 高齢者の意見を反映した参加型商品
- 一昨年からは、「お節介果物」も発売

年間24tの食品ロス削減！
→食育・農業体験への進展！

- 規格外野菜を有効活用
- 子供たちへの食育活動、伝統食・保存食の伝承、農業体験など、いろんなプロジェクトへと進展！



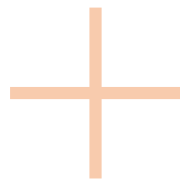


「お節介」からつながる、循環の輪

真庭市と連携した「環・農・福 連携モデル」

お節介野菜プロジェクトを通じた高齢者の社会参加

- 高齢者の「手仕事」創出 → 「いきがい」「はりあい」
- 真庭市や社協と連携した「集いの場」の創出



規格外野菜の活用で地域農業振興

- 小規模農家さんの所得向上、耕作放棄地の利活用
- 商品の都市部での流通 → 真庭の地名アップ、観光や経済の発展



「お節介」プロジェクトの広がりつつながり

ウクライナ支援 (R5.4) / トルコ・シリア地震支援金 (R6.4) お節介プロジェクト

- 「お節介野菜」の売上金を 真庭市・AMDAを通じて現地へ
- 地元のこども園へ絵本のプレゼント



支援金の贈呈式

地域商社(株)オール真庭との連携



真庭市のアンテナショップ (大阪府高槻市)

- 2022年 新たな加工施設の設置
- 流通の拡大

岡山大学病院の特定臨床研究・・・手仕事で健康に!?



- 高齢者の体操や軽作業が筋低下・認知機能の予防に繋がることを検証する研究
- 岡山大学・真庭市との三者 (官学民) で連携



真庭市から排出される生ごみ = 食品ロス

真庭市内で排出される生ごみ
約3,000t/年



生ごみ（食品ロス）から有効な資源に

真庭市内で排出される生ごみ
約3,000t/年



真庭市生ごみ等資源化施設・
バイオ液肥濃縮施設
(2025年より稼働)



生ごみ（食品ロス）から有効な資源に

生ごみがバイオ液肥事業によって、すべて肥料に生まれかわる！

真庭市内で排出される生ごみ
約3,000t/年



真庭市生ごみ等資源化施設・
バイオ液肥濃縮施設
(2025年より稼働)



すべてバイオ液肥に！



ドローン散布



十字屋グループ概要図

環境省ローカルSDGs
地域循環共生圏
JAPAN SDGs Action Platform
地方創生SDGs官民連携プラットフォーム





資源循環の啓発拠点

真庭市



真庭あぐりガーデン真庭店

岡山市津高



真庭あぐりガーデン岡山店

昨年
オープン



将来の展望～日本一お節介なまちをつくる～

一人ひとりの「お節介」の循環が「持続可能な地域」をつくる

十字屋グループ

